

謹啓 晩秋の候 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年3月11日に発生いたしました東日本大震災に対し、全国老人クラブ連合会を通じ救援拠金を第一次配分を6月13日に、第二次配分を9月20日に謹んで受領いたしました。

全国の老人クラブ会員の皆さまのご支援に、ありがたく厚く御礼申し上げます。

今回の震災では、栃木県は内陸県であることから地震による被害だけでしたが、死者4名、住宅被害全壊264棟、半壊2,029棟、一部損壊65,763棟と大きな被害を受けました。住居の全壊、半壊及び地滑り等の被害のため一時的に避難されていた方々は、現在一時避難所での生活を終え、一部の方々が仮設住宅等に入居しているだけとなってきております。

また、本県は被災県ではありませんが、東北各県からの避難者の方々の一次避難所が県内各地に設置され、多くの老人クラブ員もボランティアとして支援に参加し、交流を深め支え合うことの大切さやすばらしさを改めて実感し、組織化の必要性を再認識した次第であります。

県老連といたしましても、全国の皆様からお寄せいただいた救援拠金を活かし、被害を受けられた方々が一日も早く笑顔を取り戻せるよう各市町老連と一丸となって支援していく所存でございます。

皆様の御支援に対する御礼が遅くなりましたこと、なにとぞご容赦のほどお願い申し上げます。

甚だ略儀ではございますが、書中をもちましてご報告かたがた御厚情及び御支援の御礼を申し上げます。

末筆ではございますが、貴会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

平成23年11月30日

各都道府県老人クラブ連合会 会長 様
各指定都市老人クラブ連合会 会長 様

財団法人栃木県老人クラブ連合会
会長 佐藤六夫

